

2020 年 2 月 4 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード : 3762)

C 言語 / C++ 言語対応テストツール「C++test 10.4.3」の販売を開始

次世代の車載ソフトウェアを担う AUTOSAR リリースのガイドライン対応を大幅に強化

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝、以下「テクマトリックス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」）が開発した C 言語 / C++ 言語対応テストツール「C++test 10.4.3」の販売を 2020 年 2 月 4 日より開始します。

C++test は静的解析（コーディング規約チェック / フロー解析）、単体テスト、カバレッジ計測、実行時メモリエラー検出機能などを搭載した C 言語 / C++ 言語対応オールインワンテストツールです。車載機器、産業機器、医療機器、OA 機器といった組み込みソフトウェアの開発や、ミドルウェアの開発、Windows / Linux アプリケーションの開発など、さまざまな現場で利用されています。開発工程に C++test による静的解析、単体テストを組み込むことにより、テストの効率化とソースコードの品質向上が期待できます。

このたびのバージョンアップで、次世代の車載ソフトウェアを担う AUTOSAR（AUTomotive Open System Architecture）リリースの AUTOSAR C++14 Coding Guideline の対応が大幅に強化されました。規約への準拠を主張するために遵守することが必須である「required」かつ、静的解析ツールでサポート可能なことを示す「automated」の項目に完全対応しました。自動車産業のパラダイムシフトによって増加の一途をたどっている、Modern C++ による車載ソフトウェアの開発を強力に支援することが可能になりました。

また、車載ソフトウェアのみならず、組み込み機器全般で対応が求められるセキュリティ対策強化のため、Common Weakness Enumeration (CWE) の対応を追加しました。2019 年に更新された CWE Top 25 2019、および CWE Weakness on the Cusp の検証をサポートし、安全なソフトウェアの開発を支援します。

そのほか、Visual Studio 2019、GCC9.x などのサポート、近年利用が広がる Docker とのインテグレーションを容易にするといった、最新の開発環境 / プラットフォームで利用するための対応が施されました。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題を解決する最適なツールとして、C++test の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【C++test 10.4.3 の新機能・改善点】

- ・ AUTOSAR C++14 Coding Guideline の対応を大幅に強化

AUTOSAR C++14 Coding Guideline への準拠を主張するために遵守することが必須である「required」かつ、静的解析ツールでサポート可能なことを示す「automated」の項目に完全対応しました。

車載ソフトウェアのコーディング規約のデファクトスタンダードは MISRA ですが、次世代の車載ソフトウェアで採用が増えている C++ 言語向けの規約は、AUTOSAR がリリースしているガイドラインがス

タンダードになりつつあります。今後、MISRA は AUTOSAR のガイドラインと統合した C++言語の車載ソフトウェア向けコーディング規約の決定版とも言うべき規約の策定を目指しており、AUTOSAR がリリースしたガイドラインは、次世代車載ソフトウェアの品質確保を担う存在とも言えます。

- ・ **セキュリティ対策の強化**

2019年に更新された Common Weakness Enumeration (CWE) のサポートを追加しました。CWE Top 25 2019、および CWE Weakness on the Cusp の検証をサポートします。前バージョンで対応が強化された CERT C/C++とあわせて、セキュリティ対策を考慮した堅牢なソフトウェアの開発を支援します。

- ・ **Docker とのインテグレーション**

Docker コンテナ上の開発環境と組み合わせた利用が容易になりました。ホスト環境上の C++test からポータビリティ性に優れた Docker コンテナ上の開発環境を利用することが可能です。また、C++test を Docker コンテナに組み込んで利用することも可能であり、テスト環境構築作業の大幅な削減に寄与します。

- ・ **サポート環境の追加**

Visual Studio 2019 へのプラグインがサポートされました。開発を行っている環境でテストを行えるため、開発者は生産性を落とすことなくテストツールを利用できるようになります。また、GNU GCC 9.x、Clang C/C++ Compiler v8.0、IAR Compiler for Arm v.8.22x/8.40x などのコンパイラがサポート対象に追加されました。

製品の詳細につきましては web ページをご確認ください。

C++test の URL : www.techmatrix.co.jp/product/ctest/

- ・ **販売開始日**

2020年2月4日

- ・ **出荷開始予定日**

2020年2月4日

2020年2月4日において、保守サービスをご契約いただいている C++test ユーザー様には、「C++test 10.4.3」バージョンアップ製品を、同じく Parasoft DTP ユーザー様には、「Parasoft DTP 5.4.3」バージョンアップ製品を、それぞれ無償でご提供します。

■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、25年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現

します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト：www.parasoft.com/ をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス（東証一部：3762）は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア開発のベストプラクティスを駆使してアプリケーション開発を行なう「アプリケーション・サービス事業」を展開しております。ソフトウェアエンジニアリング分野では、20 年にわたり、ソフトウェア品質向上をサポートする製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供しています。

詳細は Web サイト：www.techmatrix.co.jp/ をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>
テクマトリックス株式会社
ソフトウェアエンジニアリング事業部 C++test 担当
E-mail：parasoft-info@techmatrix.co.jp
TEL：03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。